和歌山県立
日高高等学校
SGH通信
第15号
2020年11月2日

令和２年度学校説明会（３）

生徒の学び

３年２組　中山莉沙

正直なところ、リハーサルには話す内容がまとまっていない状態で、深く考えずに参加してしまいました。実際、やってみると全くうまくいかなかったし、言いたいことも全然伝えられていない実感がありました。まだ学校行事をあまり経験できていない１年生のほうが上手で焦りを感じたので、その日帰宅してから要点を書き出して当日まで練習を重ねました。

本番は上手く進めることができたと思います。伝えたい内容が頭に入っていたので、一字一句覚えていなくても、自分の言葉で伝えることができました。自信をもって話すためには、不安を取り除いた状態で本番に挑むことが大切だと感じました。事前準備の大切さを改めて学びました。

卒業する前に、いい大仕事ができてよかったです。今後に生かしたい経験です。

１年４組　川端紗奈

参加する中学生だったら、自分はどんな説明を聞きたいかというのを中心に、今回の説明をしました。詳しい情報ももちろん知りたいと思うのですが、やはり一番知りたいのは、今学校に通っている高校生の本当の気持ちだろうと思いました。まだあまり高校生活の経験が十分でない１年生ですが、思ったことや実際にしていることをたくさん具体的に伝えました。

自分の成長を感じたことは、「恥ずかしがらずに、自分の伝えたいことを言えたこと」です。私自身が、中学生の時に進路にとても迷ってしんどかったというのもあって、中３の子たちには、在校生の本当の声を聞いて、そのうえでどの高校に行くか決めてもらいたいと考えました。当日は、本当に伝えたいことを言えました。とても良い経験になったのと同時に、自分を見つめ直すことができました。

２年６組　藤田恵理子

特色紹介で担当したのは「学習活動」「国際交流」と「探究活動」の一部だったが、実際何をしているのか、中学生には想像がつかない部分もあるように思われたので、補足説明や自分の体験を加えた。難い内容であることと、緊張をほぐしてあげたいという思いから、できるだけフランクに話し、親しみやすく感じてもらえるよう気を配った。楽しく、わかりやすく、でも伝えたいことは伝わるように。強調するところを作ったり、ときどきまとめたり、中学生の表情を見ながら付け加えて説明したり、逆にさっと通ったりしながら紹介した。チームの二人で協力して一つの話題を話すなどして、話題に幅を持たせることも心がけた。

自分自身については、本番で対応する臨機応変さが少し成長した気がした。特色紹介自体は伝えようと決めていたことを伝えるけれど、質疑応答はどうなるかが分からない。けれど、受けた質問には丁寧に答えられたと思うし、そこから少し話を広げられたのはよかったと思う。雰囲気もほぐれた。焦ったところがなかったとは言えないけれど、今までとは違い、焦りをあまり見せずに対応できるようになったのは成長だと感じる。焦っている姿を見せたら相手のことまで焦らせてしまうから、どちらにも過度な緊張を生まないことを心掛け、また実際にそれが実現できたことが自分の成長に繋がった。